

7) 水質（定期観測）

評価項目	視点	平成 26 年度の調査結果概要
経年的な変化状況	生活環境項目等の時間変化 (定期調査)	・ pH、SS、DO、BOD は環境基準値（河川 A 類型）を満足し、安定的に推移している。 ・ 水位低下装置設置後も、過去データと比較して大きな変化はみられない。

※荒瀬ダム直上流は、平成 22 年度までは月 2～5 回の頻度、平成 23 年度以降は月 1 回の頻度で実施。

瀬戸石ダム下流、破木橋（百済木川）、道の駅坂本は、平成 21 年度までは月 2～5 回の頻度、平成 22 年度以降は月 1 回の頻度で実施。





